

## 様式 56 の 4

内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術  
内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）  
内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術  
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術

の施設基準に係る  
届出書添付書類

<p>1 届出を行う項目について（該当するものに○印をつける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術</li> <li>・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術</li> </ul>																													
<p>2 標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）</p> <p style="text-align: right;">科</p>																													
<p>3 外科、頭頸部外科、耳鼻咽喉科又は内分泌外科について10年以上の経験を有し、区分番号「K 4 6 1－2」、「K 4 6 2－2」、「K 4 6 3－2」又は「K 4 6 4－2」の手術を術者として実施した経験を有する常勤医師の氏名等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名</th> <th>常勤医師の氏名</th> <th>勤務時間</th> <th>当該診療科の 経験年数</th> <th>区分番号「K 4 6 1－2」、 「K 4 6 2－2」、 又は「K 4 6 4－2」の 手術の術者としての経験 症例数（合計）</th> <th>区分番号「K 4 6 3 －2」の手術の術者 としての経験症例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>時間</td> <td>年</td> <td>例</td> <td>例</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>時間</td> <td>年</td> <td>例</td> <td>例</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>時間</td> <td>年</td> <td>例</td> <td>例</td> </tr> </tbody> </table>						診療科名	常勤医師の氏名	勤務時間	当該診療科の 経験年数	区分番号「K 4 6 1－2」、 「K 4 6 2－2」、 又は「K 4 6 4－2」の 手術の術者としての経験 症例数（合計）	区分番号「K 4 6 3 －2」の手術の術者 としての経験症例数			時間	年	例	例			時間	年	例	例			時間	年	例	例
診療科名	常勤医師の氏名	勤務時間	当該診療科の 経験年数	区分番号「K 4 6 1－2」、 「K 4 6 2－2」、 又は「K 4 6 4－2」の 手術の術者としての経験 症例数（合計）	区分番号「K 4 6 3 －2」の手術の術者 としての経験症例数																								
		時間	年	例	例																								
		時間	年	例	例																								
		時間	年	例	例																								
<p>4 緊急手術が可能な体制</p> <p style="text-align: right;">（ 有 ・ 無 ）</p>																													

### 〔記載上の注意〕

- 「1」については、届出を行う項目に○印をつけること。
- 「3」については、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添2の様式52により添付すること。区分番号「K 4 6 3－2」の手術の術者としての経験症例数については、内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術の届出を行う場合に記載すること。
- 「3」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記載すること。
- 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。